



## 新潟市環境部循環社会推進課 御中

2026年度活動報告書（3R推進部門）～OLYMPUSの3Rへの取り組み～

# 1. 3R活動 ～OLYMPUSの3Rへの取り組み～

## ↑ Reduce

- 赤面山の植林と苗の生育／白河オリンパス



- 白神山地の植樹活動／青森オリンパス



## ↑ Reuse

- 社会貢献活動「古着deワクチン」の実施（新潟支店）



必要としなくなった大切な衣類を誰かの役に立つように手放し、衣類のリユース・リサイクルを通してオリンパスグループ全体で1670本のポリオワクチンを幼い子どもたちに届けます。

## ↑ Recycle

- 資源リサイクルの成果※詳細は下記リンク  
<https://www.olympus.co.jp/csr/environment/naturalcapital-and-waste/?page=csr>

廃棄物排出量・埋立量



## 2. サステナビリティ

### CDP「サプライヤー・エンゲージメント評価」で 最高評価の「サプライヤー・エンゲージメント・リーダー 2024」に選定

2025年7月17日

オリンパス株式会社（以下、オリンパス）は国際的な非営利団体CDP ※1より、「サプライヤー・エンゲージメント評価」において最高評価である「サプライヤー・エンゲージメント・リーダー 2024」に選定されました。

当社は取り組むべき重要課題（マテリアリティ）の一つとして「社会と協調した脱炭素・循環型社会実現への貢献」を特定し、2030年までに自社事業所からの温室効果ガス排出量（Scope1,2※2）を実質ゼロにするカーボンニュートラル目標を定め、製造改善活動や省エネ施策、再生可能エネルギーの導入などの取り組みを進めています。また、原材料調達・物流・製品使用などの段階で発生する温室効果ガスの排出量（Scope3※2）をカテゴリごとに把握・算定するとともに、グリーン調達の推進や物流効率改善、環境配慮型製品の開発などサプライチェーン全体の温室効果ガス削減の取り組みを進めています。今回の選定は、これらの継続的な取り組みが評価された結果であると考えております。

当社は、私たちの存在意義「世界の人々の健康と安心、心の豊かさの実現」をすべての活動の基本思想としています。この基本思想のもと、人々の安全・健康とそれを支える自然のいとなみを尊重し、製品・サービス、あらゆる事業活動において環境との調和と経済の両立を目指し、持続的発展が可能な社会と健全な環境の実現に貢献してまいります。

※1

企業や自治体の環境情報開示のための世界的なシステムを運営する非営利団体。2000年の設立以来、CDPは資本市場と企業の購買力を活用することで、企業が環境影響を開示し、温室効果ガスを削減し、水資源や森林を保護する取り組みを先導してきました。CDPは、TCFD に完全に準拠した質問書に基づく、世界最大の環境データベースを有し、CDPスコアは、ネットゼロ、持続可能でレジリエントな経済を構築するために、投資や調達の意思決定に広く活用されています。

※2

Scope1：敷地内における燃料の使用による直接的な温室効果ガス排出

Scope2：敷地内で利用する電気・熱の使用により発生する間接的な温室効果ガス排出

Scope3：その他の間接的な温室効果ガス排出（Scope1、Scope2を除く）

OLYMPUS

True to Life

Sustainability Report  
2025

サステナビリティレポート

